



広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和8年4月22日
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】
中国財務局経済調査課
電話 (082) 221-9221

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→
生産活動	横ばいの状況にある	緩やかに持ち直しつつある	↗
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	→
設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	7年度は前年度を下回る見込み	↘
企業収益	7年度は減益見込み	7年度は増益見込み	↗
企業の景況感	「上昇」と「下降」が拮抗している	「下降」超となっている	↘
住宅建設	前年を下回る	前年を上回る	↗
輸出	前年を上回る	前年を上回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、ホームセンター販売は、例年より気温が高かったことからストーブなどの冬物商材が不調で、前年を下回っている。スーパー販売は、時短志向のトレンドから味付け済みの半調理品などが好調で、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、節約志向が継続する中、米飯類の代替としてパンや麺類などが好調で、前年を上回っている。家電大型専門店販売は、気温低下等によりエアコンなどが好調で、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、新車価格の上昇による買い替えサイクルの長期化などから、前年を下回っている。このように、個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 例年より気温が高かったため、ストーブ等の暖房商品、防寒用の作業衣料やカイロなど冬物商材が不調だった。（ホームセンター）
- 時短を求めるトレンドが続いており、調理に手間がかからない味付け済みの半調理品が好調だった。また、ハレの日需要を背景に節分の恵方巻が好調で、一本巻より価格が手頃なハーフ巻が好まれた。（スーパー）
- 節約志向が継続する中、米飯類の価格上昇を受けてパンや麺類へのシフトがみられており、特に価格の面でも買い求めやすいカップ麺の売上が伸びている。（コンビニエンスストア）
- エアコンは気温低下による需要増加のほか、2027年4月の省エネ基準引上げ前に購入する動きがみられ好調だった。（家電大型専門店）
- 新車価格の上昇による買い替えサイクル長期化の傾向がみられる。（自動車販売）
- 前年インバウンド等の影響で大幅に観光客数が増加していた反動で、1~2月は伸び悩んだが、3月に入り寒さも緩んで観光客が戻ってきている。物価高により海外や遠方への旅行を控えているのか、近隣県からの宿泊客が増加している。（宿泊業）

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

電気機械は、半導体の需要が好調であることなどから、増加している。一般機械は、半導体製造装置の需要が堅調であることなどから、増加している。プラスチック製品は、車載向けの需要が堅調であることなどから、増加している。輸送機械は、造船で豊富な受注残を抱えていることや、自動車で新型車効果がみられることなどから、おおむね横ばいとなっている。鉄鋼は、建材向けの需要が低調であることなどから、減少している。このように、生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。

- データセンターなどで用いられる生成AI向け半導体の需要が好調であることから、生産量が増加している。（電気機械）
- 生成AI向け半導体製造装置の需要が堅調に推移していることから、生産量が増加している。（一般機械）
- 自動車に搭載されるディスプレイの大型化に伴い、パネル使用面積が拡大しているなど、車載向けディスプレイの需要が堅調に推移していることから、生産量が増加している。（プラスチック製品）
- 脱炭素の流れを受け、新燃料船の建造需要が増加しており、数年先まで手持ちの工事が確保できているなど、フル生産が続いている。なお、中東情勢の影響を受け、塗装工程で使用するシンナーなどの石油関連製品の調達在今后困難となり、生産に影響が生じることを懸念している。（輸送機械）
- 新型車効果のほか、欧州市場において一部車種の需要が堅調に推移していることから、生産量が増加している。なお、3月以降、中東向けの出荷を見合わせている。（輸送機械）
- 人手不足や建設コストの上昇などを背景に建設需要の低迷が続いており、建材向け鋼材の需要が低調なことから、生産量が減少している。（鉄鋼）

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、緩やかに低下しているほか、新規求人数は、前年を下回っている。一方、法人企業景気予測調査（8年1-3月期）の従業員数判断 BSI でみると、製造業・非製造業いずれにおいても「不足気味」超が続いており、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にある。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- 省人・省力化投資の進展に加え、民間職業紹介サービスの活用や自社ホームページでの直接募集など求人手法の多様化を背景に、求人数は減少傾向が続いているものの、依然として求人が求職を上回って推移している。（人材・職業紹介）
- 研究・開発を担うエンジニアが慢性的に不足している中、対象分野の学生数の減少もあり、人材獲得競争が激化している。このため、民間職業紹介サービスを活用して中途採用を積極的に行っているほか、外国人の登用にも取り組んでいる。（情報通信機械）
- 新規出店を進めるなか、求人募集を行っても応募は少なく、人手不足が続いているため、賃上げやパート・アルバイトの正社員登用などの待遇改善を進めている。また、棚卸作業の外注や営業支援端末の改良などにより、少ない人員で店舗運営ができるように取り組んでいる。（小売業）

■ 設備投資 「7年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 製造業では、「非鉄金属」などで減少するものの、「自動車」、「その他製造」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「金融・保険」、「小売」などで増加するものの、「電気・ガス・水道」、「運輸・郵便」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

- 中長期的な需要の増加を見込み、新工場の建設などの設備投資を行っている。(自動車)
- 前年度の発電関連の大型設備投資の反動により、減少している。(電気・ガス・水道)

■ 企業収益 「7年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 製造業では、「自動車」などで減益となるものの、「その他製造」、「その他の輸送用機械」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道」、「金融・保険」)では、「情報通信」、「宿泊・飲食サービス」などで減益となるものの、「建設」、「運輸・郵便」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超となっている。なお、先行きは「下降」超幅が拡大する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、貸家、持家が減少しているものの、分譲住宅、給与住宅が増加していることから、前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

- 輸出(円ベース)は、船舶などが減少しているものの、自動車、電気機器などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中南米などで減少しているものの、西欧、アフリカなどで増加している。
なお、輸入(円ベース)は、電気機器、鉄鉱石などが増加していることから、前年を上回っている。地域別ではアジア、大洋州などで増加している。

広島県内経済情勢報告

(令和8年4月22日)

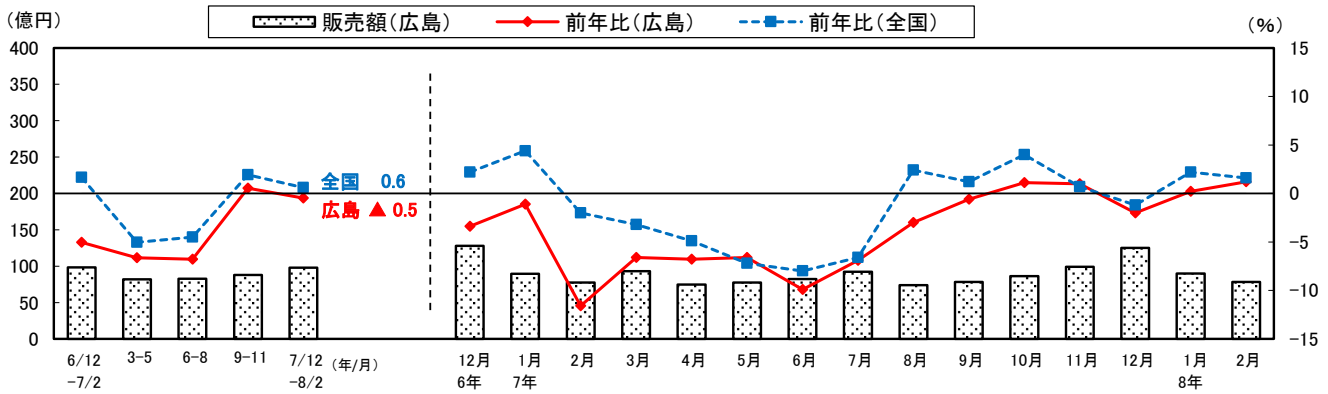
資料編

	目次	ページ
1.	個人消費	1
2.	生産活動	3
3.	雇用情勢	4
4.	設備投資	5
5.	企業収益	5
6.	企業の景況感	6
7.	住宅建設	6
8.	輸出	7

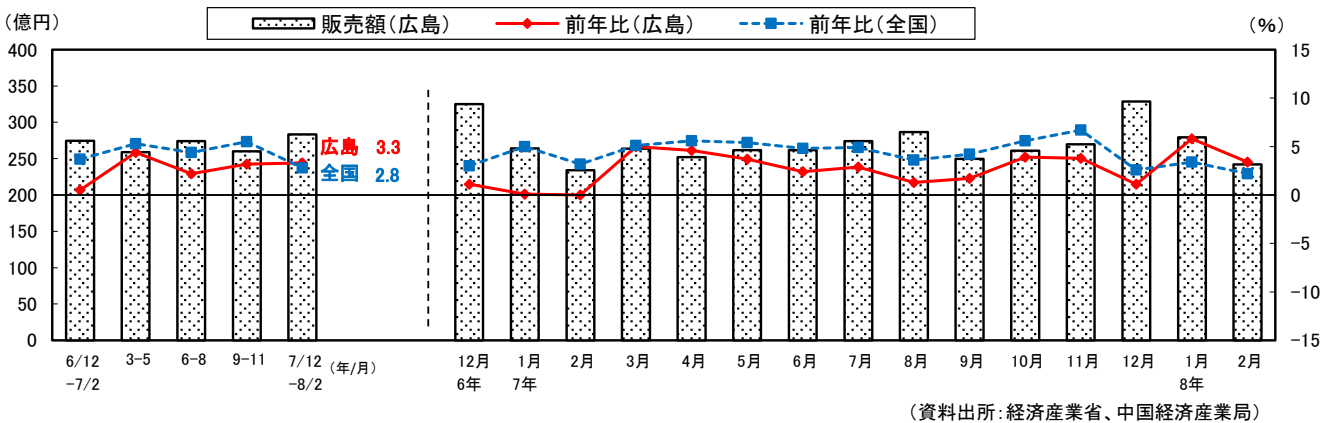
1. 個人消費 一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある

(1) 百貨店販売額(全店舗)

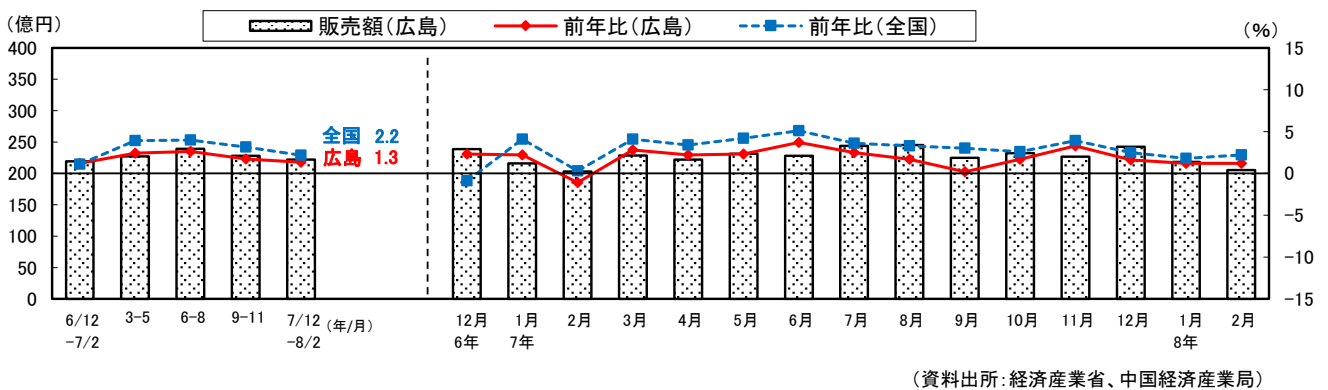
(注) (1)～(6)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示



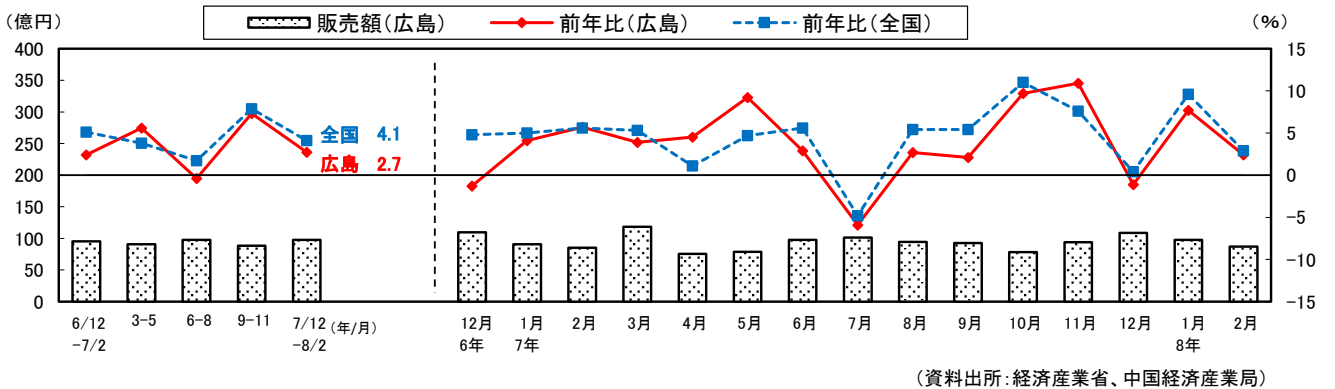
(2) スーパー販売額(全店舗)



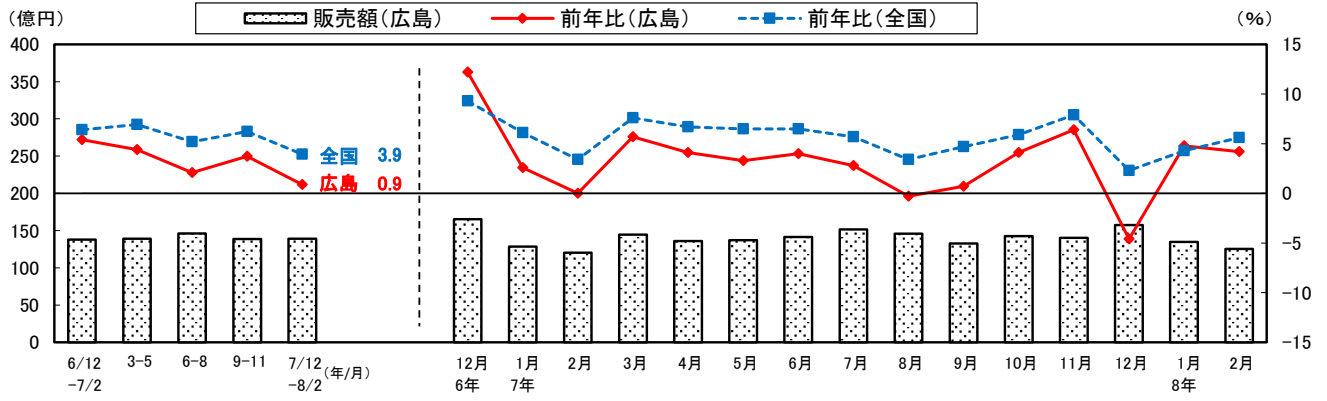
(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)

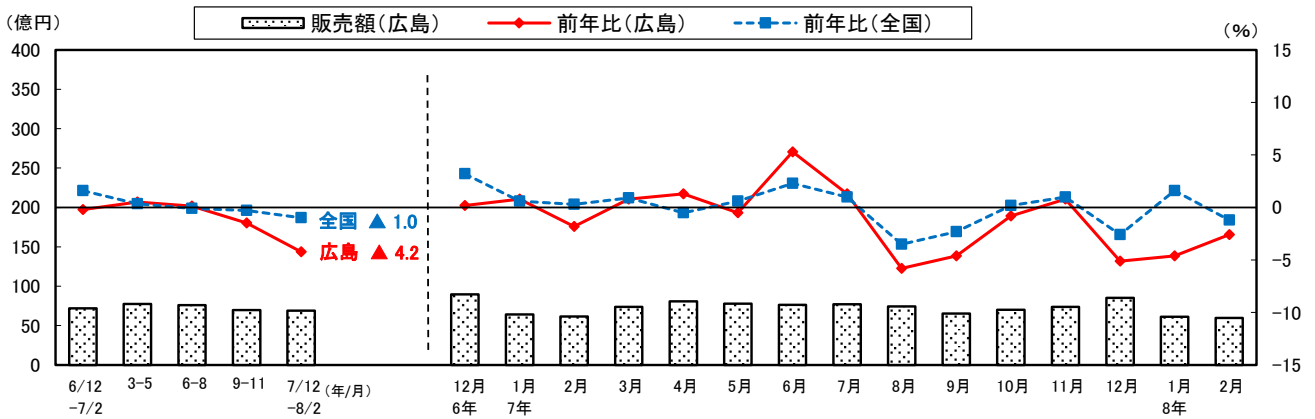


(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



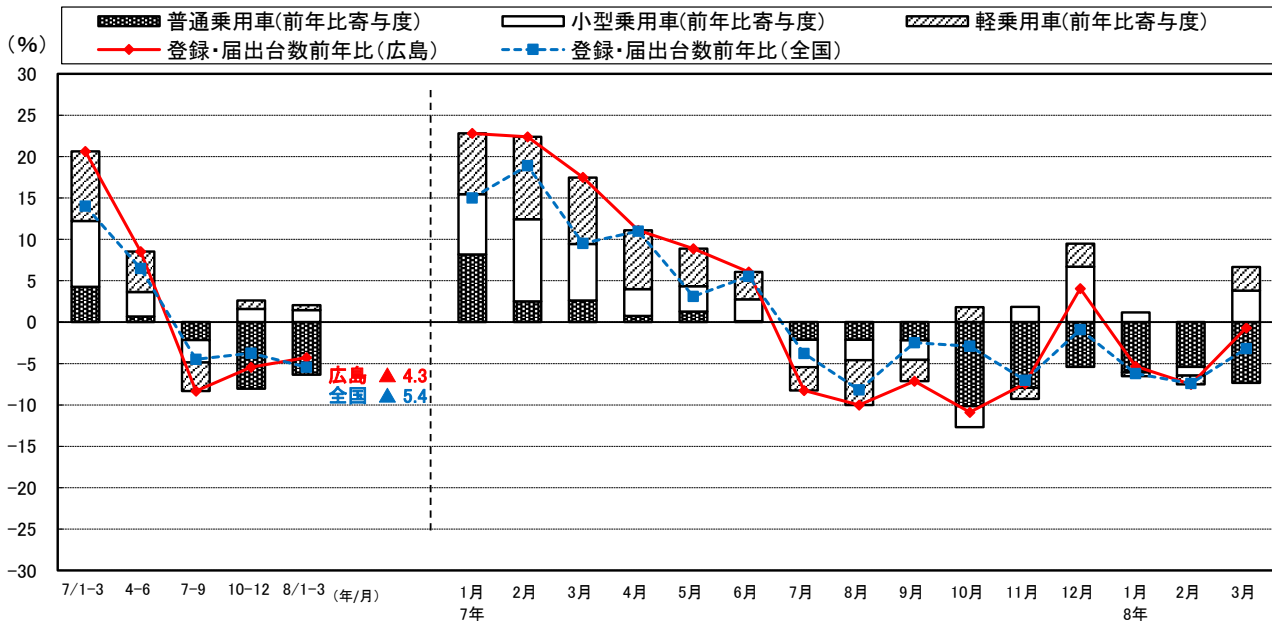
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

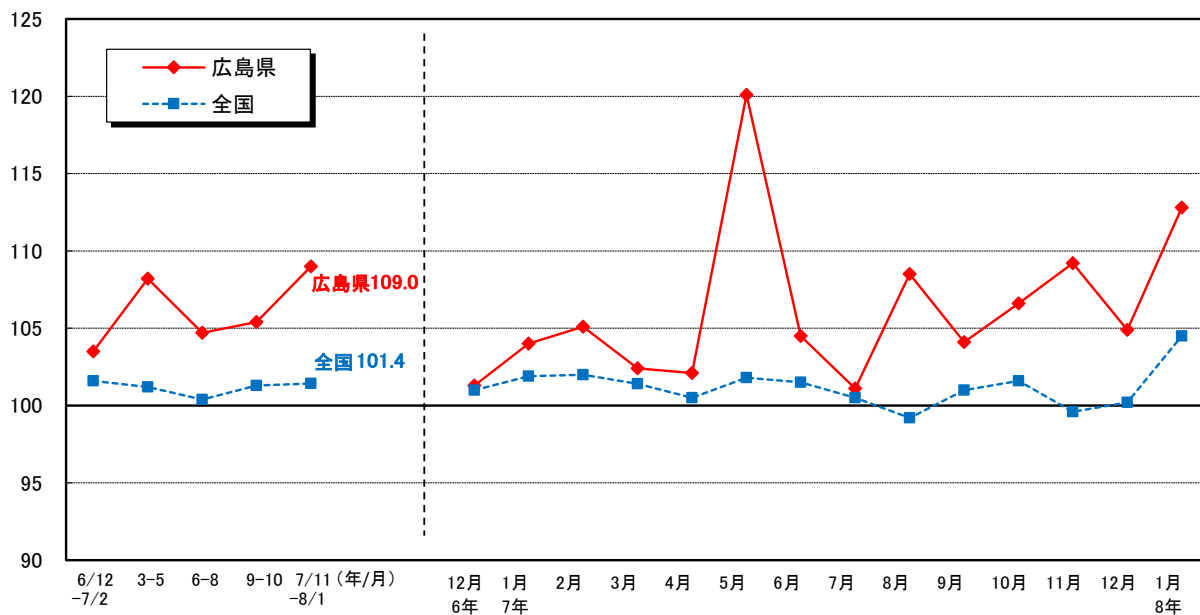


(資料出所: 中国運輸局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車販売協会)

2. 生産活動 緩やかに持ち直しつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

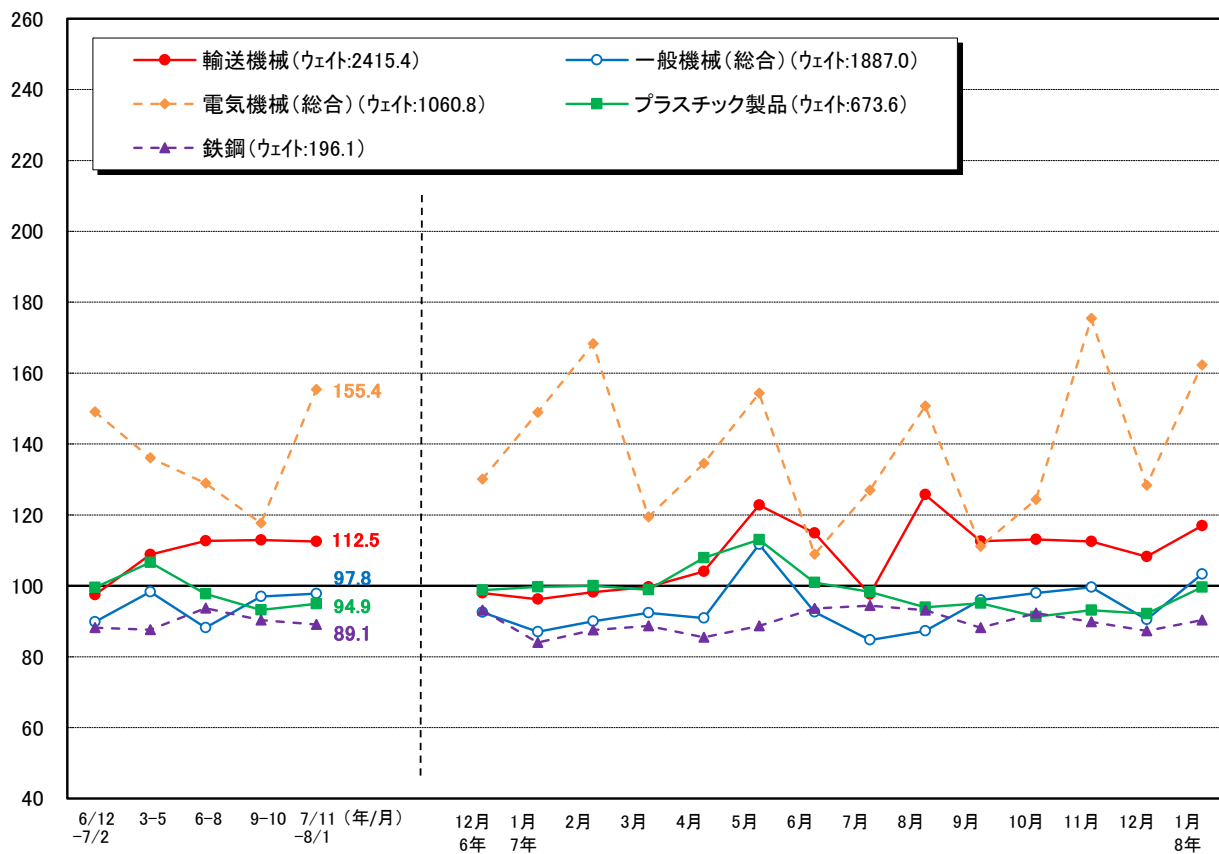
(指数) (令和2年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (令和2年=100)

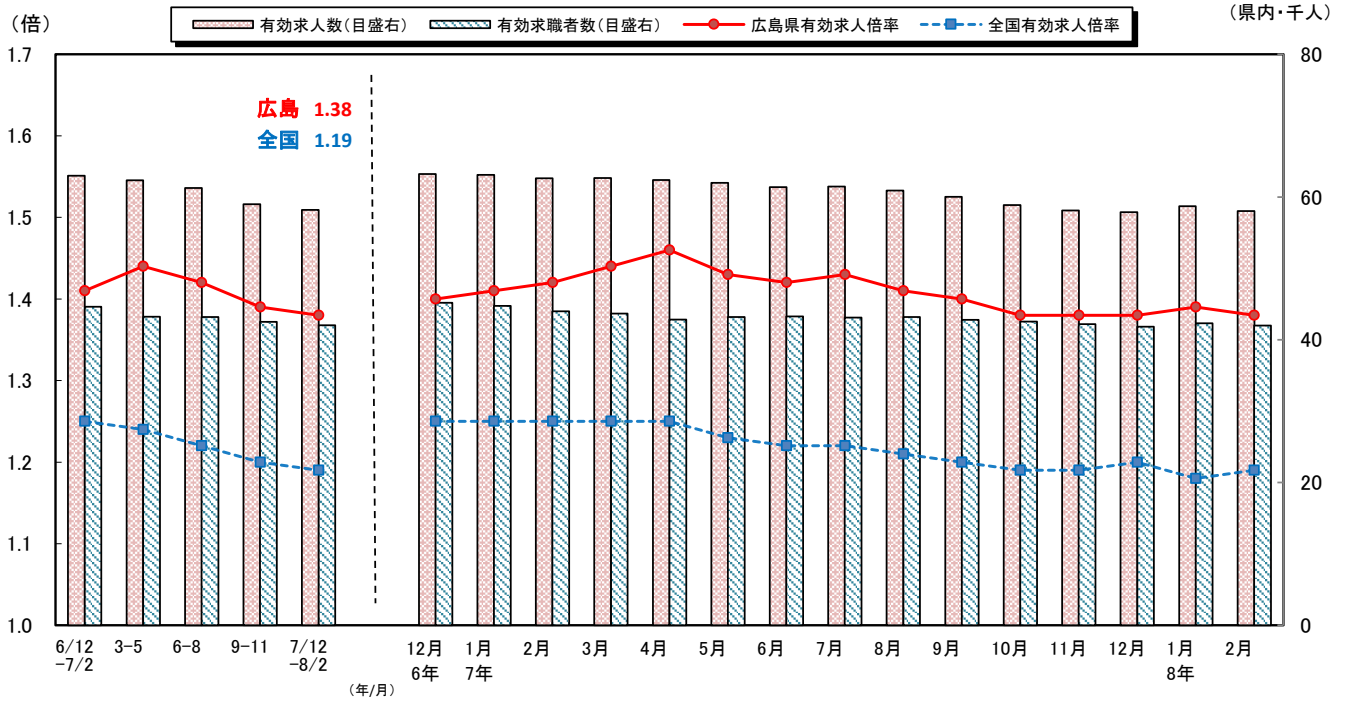


(資料出所: 広島県)

3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

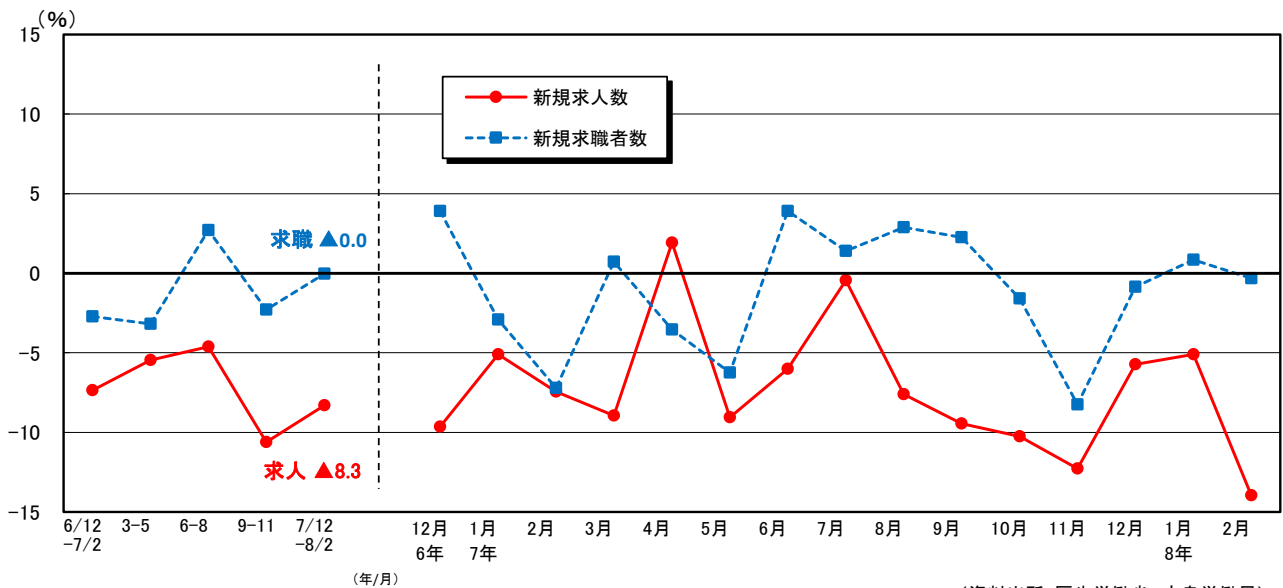
(1) 有効求人倍率、有効求人・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人倍率と有効求職者数は、1月あたりの平均。



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

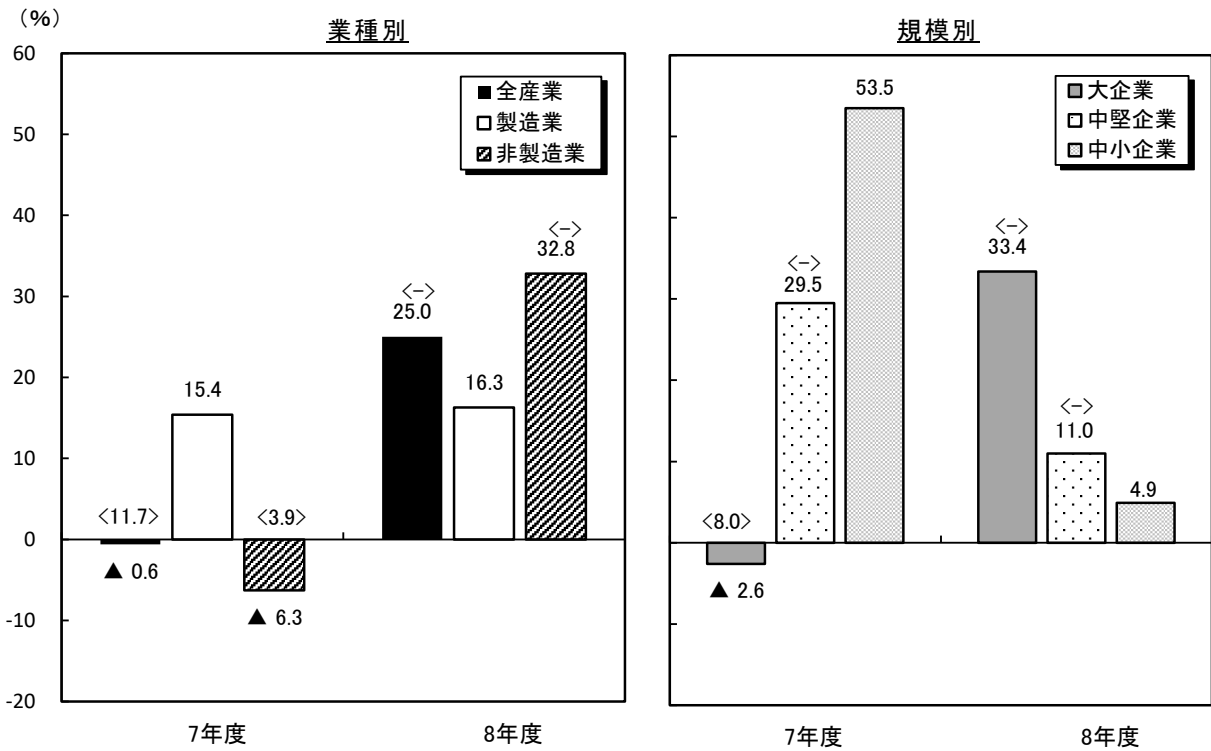
(2) 県内新規求人・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

4. 設備投資 7年度は前年度を下回る見込み

設備投資額(前年度比)

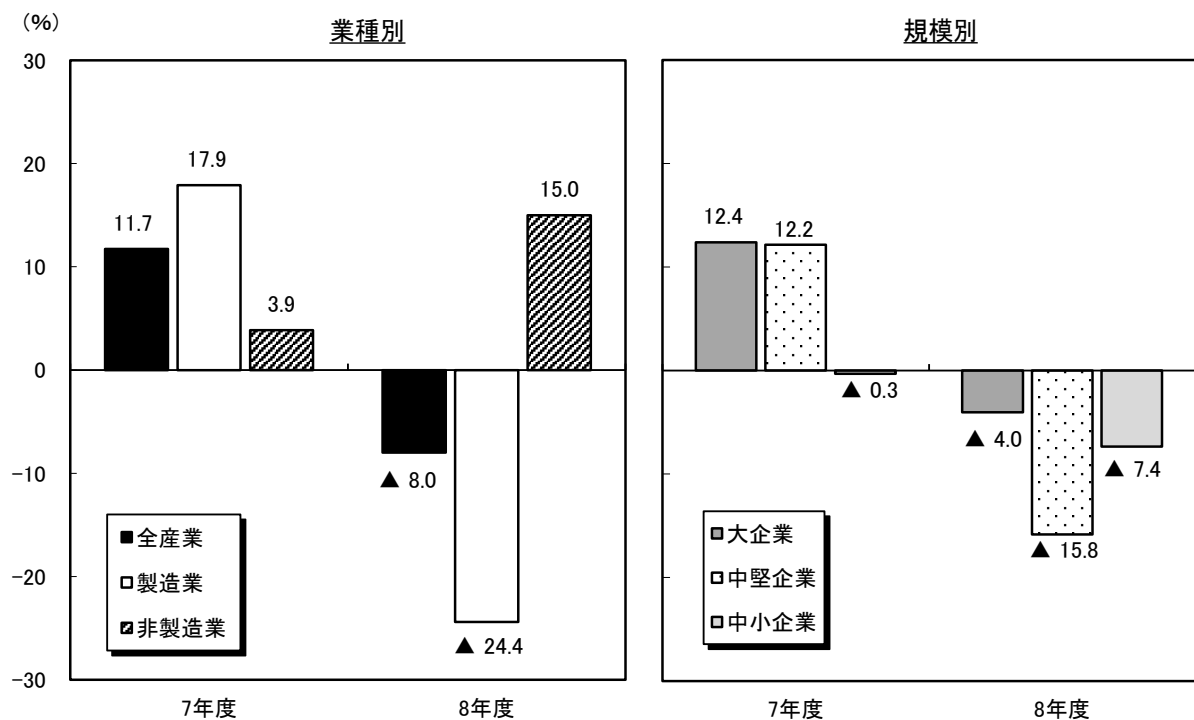


< >書きは電気・ガス・水道を除く前年度比

(資料出所: 中国財務局)

5. 企業収益 7年度は増益見込み

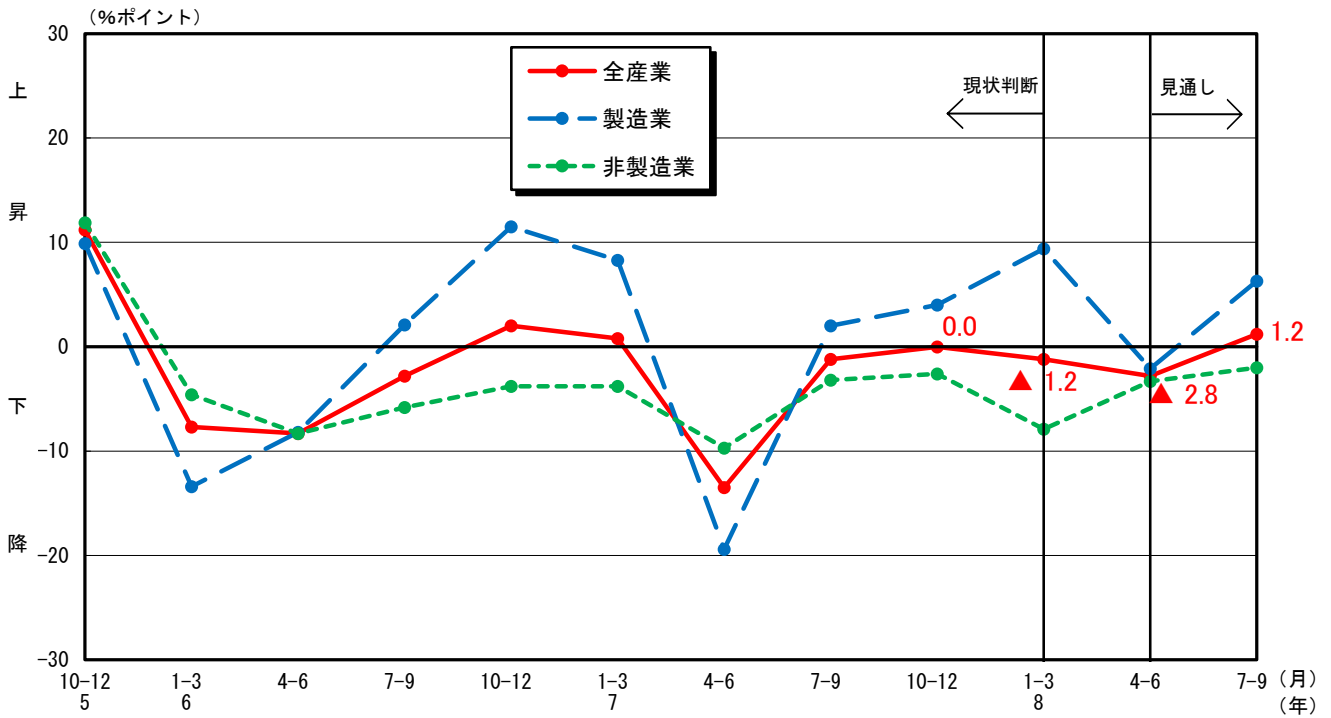
経常利益(電気・ガス・水道、金融・保険を除く: 前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

6. 企業の景況感 「下降」超となっている

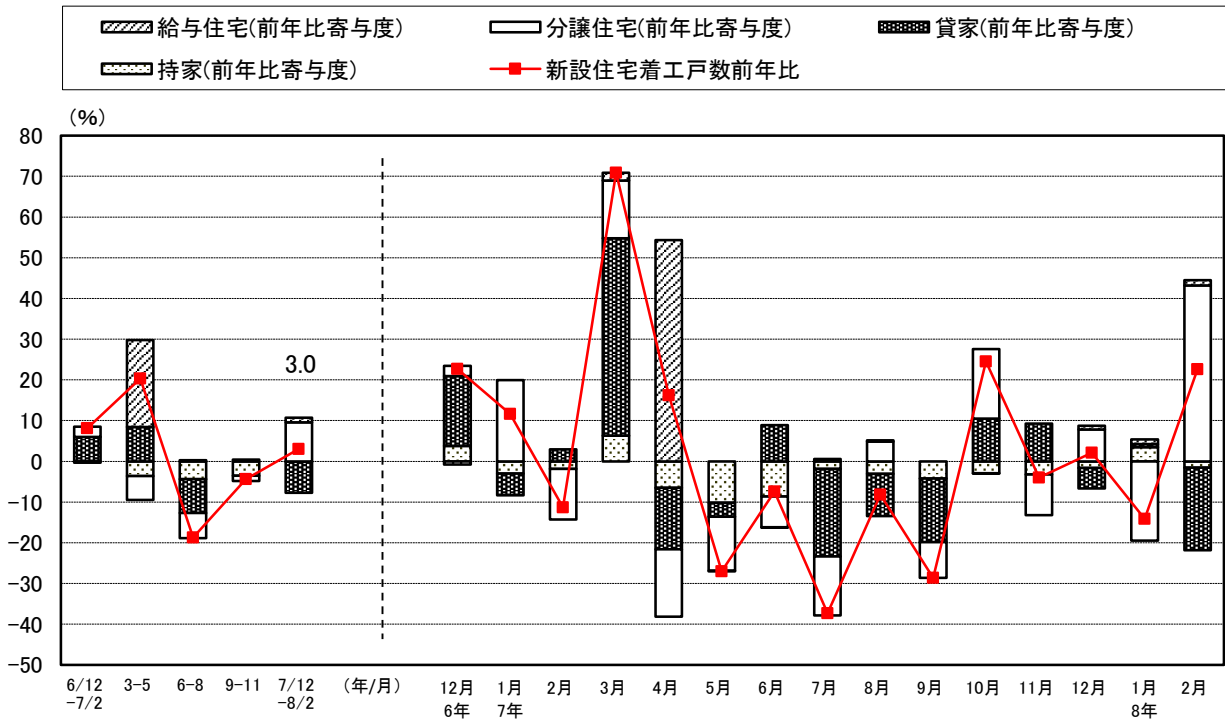
景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

7. 住宅建設 前年を上回る

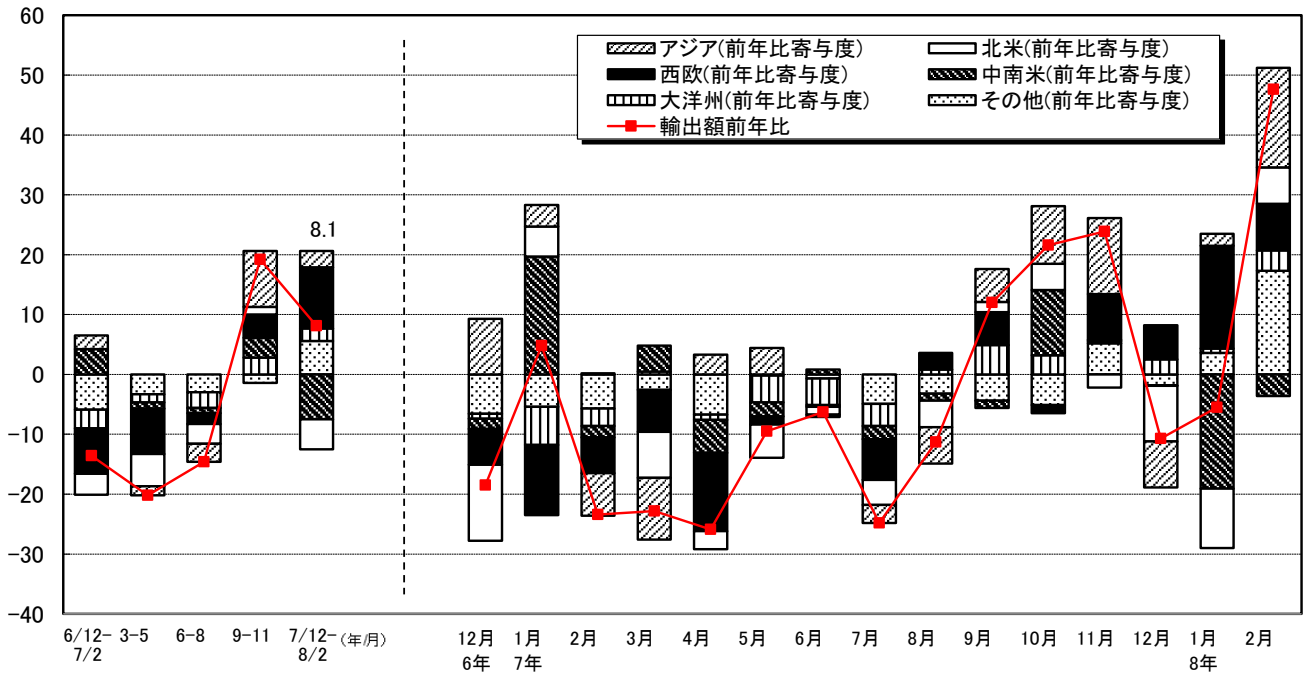
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸出 前年を上回る

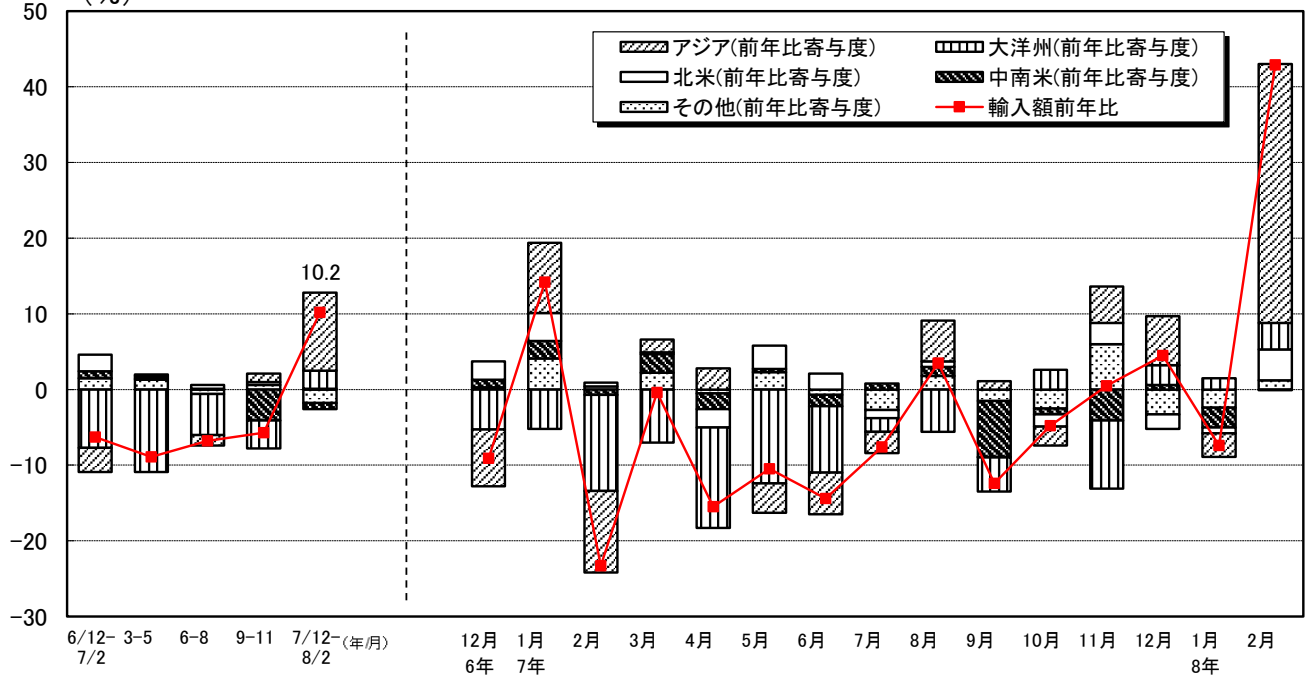
輸出(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)

<参考>

輸入(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)